

# 親の介護で人生を終わらせていいのか？

先日、40代、50代でシン

グル介護をしている人たちが

話を聞いた。朝日新聞の

ネット調査でも、半数近く

が「人生が

大きく変わ

った」と答

えていた

が、率直に

私の感想を言うと、自分の

。人生のすべて、を親の介

護に費やしている感じだっ

た。

40代の女性は母の介護を

5年続けている。その前も

父の介護を6年しており、

現在は働きながらのシン

グル介護である。失礼と思

ながら、へあなたの人生つ

れない。この今、今日をど

う切り抜けるかで頭

がいっぱいです」と

ポツリ、

これが、まさしく

シングル介護の現実

なのかと思うと、目の前が

暗くなります。ただ、私は

同時に親と子の絆の太さも

思い知らされました。親が

子を産み、必死に育て、そ

の思いに子が報いる、シン

グル介護をしている人の多

くは、自分の体力が弱く限

り、自宅で親の面倒を見た

いと思っっている。もし体

を壊したら、その際は仕方

なく施設に入ってもらおう

うスタンスです。

良い悪いの議論は別に

し、手をかけて子を育てれ

ば、子は介護から自をそら

すことはない。あの女性に

へもっと「気晴らししな

さい。恋愛でも楽しんだら

長

うですか」と言う気にはな

れない。必死で親を守る娘

に、その親が育てたのだ。

もちろん、介護は、お

金、精神力、体力のトライ

アングルがしっかりしてい

ることが必要。この三角形

のバランスが崩れたとき、

他人は何をしてやれるかを

考えないといけない。私は

彼女に「ヘキミだけではな

い。たぐさんの人が介護を

していることを忘れない

で」という言葉を送りた

い。

## 知って当たり前 介護ガイド帳



上原喜光

（全国介護者支援協議会

長）